

2024 年 2 月度 (第 409 回) ライフサイエンス分科会

開催日時：2024 年 2 月 15 日 (木) 15:30～17:30

開催場所：情報科学技術協会 会議室と Web のハイブリッド開催

参加人数：13 名

内容：講演「医薬品情報と医薬品の情報」 他

記入者：日本化薬株式会社 木村睦子

1. 講演：

「医薬品情報と医薬品の情報」

- 医薬品の安全な情報（粒度の高い）の適切な利活用により、安全性の確保、医療の質の向上に努める -
- 医薬品情報の未来へのみちしるべ -

演者：東京医療保健大学大学院・医薬品情報標準化推進協議会（CAPS）

折井 孝男 様

講演内容：

情報 医薬品情報と医薬品の情報

情報の管理

情報の管理面と情報の属性面

診療情報を例としてのセキュリティー

バリディティー (validity)・バーサティリティー(versatility)

データを情報として利活用する Data/Information/Intelligence→Knowledge

医薬品情報の量、質の評価と選択

薬害・副作用

医薬品の開発と医薬品情報 医薬品の安全性

日本での薬害事件（戦後の薬剤事件、誓いの碑）

PMDA 医療安全情報（情報発出から発行までの速さと情報量（情報内容の詳しさ））

患者個人に伝えるべき安全性情報 緊急安全性情報の伝達に患者が貢献できること

JCI : Joint Commission International

新聞記事の紹介（国際病院評価機構（JCI : Joint Commission International））

米国で生まれ世界的に広がった認証機構

JCI のミッション：教育、協議、国際的認証を通じて世界中の医療における患者安全とその質の不断の改善につとめること

病院が JCI を受審する目的

品質改善を目的とした（安全性向上のための）医療の質の評価

薬剤関連業務の評価 ドナベディアンモデル (Donabedian model) (1980)

病院における医薬品副作用情報の収集と病院における医薬品の採用

医療用医薬品添付文書の電子化

医薬品の安全対策

医薬品情報提供システム（医療用医薬品添付文書情報の搭載枚数やアクセス数の推移）

添付文書の電子化とアプリケーション PMDA メディナビ

医療 DX

デジタルトランスフォーメーション (DX) とは？

医療 DX の方向性

働き方改革への対応 (環境づくり・機能分化と連携・社会全体の意識改革)

ドイツでの状況

スマートホスピタル

DX 推進病棟 Concept (「医療安全・医療の質向上」「医療従事者の働き方改革」「間接コスト削減・収支改善」を実現)

次世代 Smart Hospital 構想

(医薬品データの利活用のための将来への道しるべ)

電子カルテ情報の診療における連携

HL7 FHIR (ファイアー) とは

電子処方箋

データの二次利用

今後の健康医療情報システム構築の形

日本の主な RWD - 病院情報システム

ビッグデータ解析手法

医療現場で発生する (医療) データの活用に期待されるのは

医薬品情報の標準化のためには

医薬品情報標準化推進協議会 (CAPS) のご紹介

電子化医薬品情報 (e-labeling) における標準規格の国際調和、相互運用性確保に資する

医薬品の安全性向上確立に向けた研究

医薬品情報に対する価値観・発想の転換が必要

●新しい情報 ●信用できる情報 ●情報のセキュリティ ●情報のプライバシー保護

参考資料 (事前案内) : 折井孝男. 医薬品情報提供の振り返りー医薬品情報の未来への道しるべー. 薬学図書館. 68(2). 2023. 67-72.

2. 連絡事項

- ・ 2024 年度年間予定とグループ分けの紹介
- ・ INFOPRO2024 に向けて検討中事項の説明

3. 次回以降の予定

3 月 : 休み、 4 月 : 4 月 18 日 (木) 14:00~16:00 【内容】 JDreamSR の新機能など

以上